

【講演プログラム】

基調講演

9月14日(土)/1日目 16:00~17:00 第1会場(文教会館 ホール)

作業療法の未来に向けて～求められる組織の役割と専門性の追求～

講師：山本 伸一（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）

司会：東川 哲朗（恵寿金沢病院）

P34

特別講演

9月14日(土)/1日目 14:50~15:50 第1会場(文教会館 ホール)

急性期リハビリテーション医療にリハビリテーション科医がいることの意義

講師：八幡徹太郎（金沢大学附属病院リハビリテーション科）

司会：西 悦子（金沢大学附属病院）

P35

市民公開講座

9月15日(日)/2日目 14:00~15:00 第1会場(文教会館 ホール)

上を向いて歩こう

講師：塚田 誉（フリーアナウンサー）

司会：堀江 翔（金沢大学附属病院）

P36

教育シンポジウム 1

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第1会場(文教会館 ホール)

「5年でジェネラリストを育てる」当院の作業療法士の教育について

講師：川上 直子（社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院）

司会：永井亜希子（恵寿総合病院）

P37

教育シンポジウム 2

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第1会場(文教会館 ホール)

当院における卒後教育の実践と課題

講師：長谷川敬一（一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 リハビリテーション部 部長）

司会：永井亜希子（恵寿総合病院）

P38

教育シンポジウム 3

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第1会場(文教会館 ホール)

作業療法士としての成長を実感できる職場の作り方

講師：三崎 一彦（合同会社 PortoParco, 小樽作業療法相談所）

司会：永井亜希子（恵寿総合病院）

P39

教育セミナー 1

9月14日(土)/1日目 10:30~12:00 第1会場(文教会館 ホール)

作業療法と QOL

講師：能登 真一（新潟医療福祉大学）

司会：麦井 直樹（金沢大学附属病院）

P40

教育セミナー 2

9月14日(土)/1日目 10:30~12:00 第2会場(文教会館 401・402)

脳血管障害×作業の力を魅せつける：医療から地域までの私なりの実践報告

講師：小淵 浩平（J A長野厚生連長野松代総合病院）

司会：坂下 宗祥（専門学校金沢リハビリテーションアカデミー）

P41

教育セミナー 3

9月14日(土)/1日目 10:30~12:00 第3会場(商工会議所 ホール)

注意機能やワーキングメモリは軽度意識障害患者の回復の指標となりうるのか？

講師：鈴木 孝治 (金城大学医療健康学部作業療法学科)

司会：中嶋 理帆 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)

P42

教育セミナー 4

9月14日(土)/1日目 10:30~12:00 第4会場(商工会議所 大会議室)

当事者の生活を支える福祉機器活用の工学支援技術とは

講師：寺田 佳世 (石川県リハビリテーションセンター)

司会：越田 雄 (地域医療機能推進機構 金沢病院)

P43

教育セミナー 5

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第2会場(文教会館 401・402)

MCI 段階から生じる生活障害と、その作業療法

講師：田平 隆行 (鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻)

司会：米田 貢 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)

P44

教育セミナー 6

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第3会場(商工会議所 ホール)

届けたい教育をみんなに～作業療法だからできる学校支援～

講師：仲間 知穂 (こどもセンターゆいまわる 代表)

司会：鈴木 弘美 (石川療育センター)

P45

教育セミナー 7

9月15日(日)/2日目 9:00~10:30 第4会場(商工会議所 大会議室)

手外科領域に求められる知行合一

講師：蓬萊谷 耕士 (関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科)

司会：山田ともみ (能美市立病院)

P46

教育セミナー 8

9月15日(日)/2日目 11:20~12:50 第1会場(文教会館 ホール)

作業の実践をハッシンしよう！

講師：齊藤 隆一 (社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山口県済生会豊浦病院)

司会：合歓垣紗耶香 (芳珠記念病院)

P47

【一般演題プログラム】口述

口述1

9月14日(土)/1日目 14:10~15:10 第2会場(文教会館 401・402)

脳血管1

座長：合歡垣 洸一 (芳珠記念病院)

- | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| O-01 | 麻痺側上肢の使用法の理解度促進と心理的側面にアプローチした結果、使用頻度・動作の質が向上した症例
野呂 歩南 田中 実希
医療法人桂山会 鶴飼リハビリテーション病院 | P49 |
| O-02 | 発症早期に機能的装具を用いたアプローチを行い、ニーズの高いADL動作において麻痺手の参加が促進された一例
小松 遼矢 寺島 有希子
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 | P49 |
| O-03 | 脳卒中後上肢麻痺患者に随意運動介助型電気刺激とミラーセラピーを自主練習で実施した一例
小林 直樹 庵本 直矢
名古屋市総合リハビリテーションセンター | P50 |
| O-04 | 重度左片麻痺患者に対して課題指向型アプローチを実施し、麻痺手の行動変容が得られた一症例
天日 龍馬
石川県済生会金沢病院 | P50 |
| O-05 | 左上肢の能動的な活動により体性感覚情報の入力が増えた結果、左半側空間無視・身体失認が改善しADL拡大に寄与した症例
松田 茉里耶 ¹⁾ 植田 寛 ¹⁾ 吉野 綾太 ¹⁾ 山下 悠夏 ¹⁾ 吉村 裕子 ¹⁾
野上 予人 ²⁾
1) 医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院 リハビリテーション科
2) 医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院 脳神経外科 | P51 |
| O-06 | 回復期リハビリテーション病棟での修正CI療法の実践により調理・手芸の獲得に至った一症例
田中 恭士郎 川原 和之 長澤 圭祐 岡崎 太郎
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター | P51 |

口述2

9月14日(土)/1日目 15:20~16:10 第2会場(文教会館 401・402)

脳血管2

座長：長江 和彦 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)

- | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| O-07 | 演題取り下げ | |
| O-08 | 遂行機能に低下がある高次脳機能障害者に対するグループワークの実践
塚本 倫子
名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院 作業療法科 | P52 |
| O-09 | 離床拒否が強い事例に対して自発的な活動促進に向けた取り組み
高草木 満優 ¹⁾ 吉田 里沙 ¹⁾ 合歡垣 洸一 ¹⁾ 合歡垣 紗耶香 ¹⁾ 柴田 克之 ²⁾
1) 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 リハビリテーション室
2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域 | P52 |
| O-10 | 低酸素脳症後に記憶障害を呈した事例に対する、自己認識の向上を目的とした作業療法介入
市川 舞 庵本 直矢 福井 樹里
名古屋市総合リハビリテーションセンター 作業療法科 | P53 |
| O-11 | 脳梗塞により重度失語症を呈した高齢女性が、メール作成操作を再獲得し他者との交流を再開できた事例
寺田 滯奈 山本 恭啓 袋井 かおり 山本 信孝
金沢脳神経外科病院 リハビリテーションセンター | P53 |
| O-12 | 回復期リハビリテーション病院における自動車運転支援に対する意識調査
- PT・OT・STの比較検討 -
西川 起代香 ¹⁾ 渡邊 俊紀 ¹⁾ 太田 久晶 ²⁾ 原 佑奈 ¹⁾
1) 社会医療法人愛生会 上飯田リハビリテーション病院 2) 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科 | P54 |

脳血管3

座長：須貝 里幸 (大垣市民病院)

- | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| O-13 | 復職のためのパソコンタイピングにおいて日記と動画フィードバックを用いることで機能と満足度の向上が得られた麻痺手使用に消極的だった片麻痺事例
市田 ひまり ¹⁾ 松枝 琢磨 ¹⁾ 岡野 昭夫 ²⁾
1) 医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 2) 中部大学 生命健康科学部 作業療法学科 | P54 |
| O-14 | 意欲低下のある患者様に対し排泄自立支援を行ったことで意欲が向上した一事例
黒川 夏叶 中森 崇
社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 | P55 |
| O-15 | 麻痺進行後に精神的落ち込みが生じた事例へのトイレ動作介助量軽減に向けた支援
-Toileting Tasks Assessment Form (TTAF) を用いて-
水谷 海吏 ¹⁾ 飯尾 円 ¹⁾ 佐野 哲也 ²⁾
1) 聖隷浜松病院 リハビリテーション部 2) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 | P55 |
| O-16 | 急性期脳卒中後、病識低下をきたした事例 -MTDLP を活用したジャムづくりの取り組み-
池谷 颯一郎 ¹⁾ 下田 亜由美 ¹⁾ 山内 克哉 ²⁾
1) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部
2) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科 | P56 |
| O-17 | 失語症者に対する運転再開に向けた支援
吉田 翔 川原 共恵
公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院 | P56 |
| O-18 | 病識低下によりトイレ動作介助を要した脳梗塞の症例
~活動に着目し認識の改善が得られた作業療法の試み~
福永 佳奈 後藤 伸介 中山 さやか 中村 英史 西田 紘規
特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター リハビリテーション技師部 | P57 |

脳血管4

座長：北谷 渉 (恵寿総合病院)

- | | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| O-19 | 被殺出血を呈した症例に対する触知覚弁別フィードバック型代償システムの効果の検証
達 侑紀奈 ¹⁾ 西ヶ谷 嘉一 ^{1), 2)} 山口 秀明 ^{2), 3)} 兒玉 隆之 ⁴⁾
1) 医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 2) 京都橋大学 客員研究員 3) CARETECH plus
4) 京都橋大学大学院 健康科学研究科 | P57 |
| O-20 | 脳卒中重症例に対するその人らしさを引き出す作業を通じた介入
奥田 真子 田中 実希
鶴飼リハビリテーション病院 リハビリテーション部 | P58 |
| O-21 | 急性期病棟の生活状況に合わせた動作指導を行ったことで使用頻度が向上し、上肢機能改善に繋がった一症例
世古 涼也 ¹⁾ 木村 拓貴 ¹⁾ 志水 剛史 ¹⁾ 江口 美咲 ¹⁾ 澤田 泰洋 ²⁾
天野 貴之 ³⁾
1) 名古屋徳洲会総合病院 リハビリテーション科 2) 中部大学 生命健康科学部 作業療法学科
3) 名古屋徳洲会総合病院 脳神経外科 | P58 |
| O-22 | PSD、apathy を呈した若年の重度片麻痺患者に対し、SDM による段階的な目標設定が動作能力向上に奏功した1例
荘加 美月 幅 拓矢 荘加 克磨 森 志保 松岡 伸幸
社会医療法人厚生会 中部国際医療センター リハビリテーション技術部 | P59 |
| O-23 | 促通反復訓練法を用いたことで対立動作が可能になり箸操作を獲得した左前頭葉脳腫瘍摘出後の一症例
鈴木 風花 ¹⁾ 嶋崎 勇介 ¹⁾ 蛭子 拓真 ¹⁾ 番匠谷 博之 ¹⁾ 矢田 木綿子 ¹⁾
毛利 元信 ³⁾ 百崎 良 ²⁾
1) 三重大学医学部付属病院 2) 三重大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学
3) 三重大学医学部付属病院 脳神経外科 | P59 |

O-24	意思疎通困難な事例とのアルバム作りを通して自覚性に改善が見られた経験 —家族と連携したライフストーリーカルテの活用— 村松 耀 ¹⁾ 河合 佳洋 ¹⁾ 佐々木 有里 ¹⁾ 鈴木 達也 ²⁾ 1) 天竜すずかけ病院 診療技術部 リハビリテーション科 2) 聖隷クリストファー大学 作業療法学科	P60
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

口述5

9月15日(日)/2日目 11:50~12:50 第2会場(文教会館 401・402)

脳血管5

座長：高間 達也 (七尾自動車学校)

O-25	利き手軽度麻痺の症例に対して、ADOC-Hを使用し、課題指向型練習を実施したことで遂行度、満足度が向上した一例 巻野 太星 田中 実希 医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院 リハビリテーション部	P60
O-26	対象者の課題認識を捉え協働して目標設定したことで家事役割の獲得に繋がった事例 谷口 優 ¹⁾ 山本 将也 ¹⁾ 宮崎 翔 ¹⁾ 小林 幸治 ²⁾ 1) アルペンリハビリテーション病院 2) 目白大学保健医療学部作業療法学科	P61
O-27	意図的關係モデルを用いクライアントの心理面に配慮した關係性の構築により作業参加拡大に至った事例 坂井 由衣 ¹⁾ 高多 真裕美 ¹⁾ 山本 恭啓 ¹⁾ 山本 信孝 ²⁾ 朝倉 真未 ³⁾ 丹野 拓史 ³⁾ 齊藤 隆一 ⁴⁾ 1) 医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院 リハビリテーションセンター 2) 医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院 脳神経外科 3) IMS (イムス) グループ医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院 4) 山口県済生会豊浦病院	P61
O-28	令和6年能登半島地震により被災された事例への介入 ～生活拠点の異なる地域で新たな生活再開に向け大切にしたい心理的サポート～ 田家澤 茉実 ¹⁾ 吉田 里沙 ¹⁾ 合歓垣 洗一 ¹⁾ 合歓垣 紗耶香 ¹⁾ 柴田 克之 ²⁾ 1) 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域	P62
O-29	高次脳機能障害を呈する脳梗塞患者に対して早期から箸動作の利き手交換を行った一例 佐藤 佑香 ¹⁾ 松下 功 ²⁾ 池田 法子 ¹⁾ 寺井 利夫 ¹⁾ 福井 清美 ¹⁾ 山本 真一郎 ¹⁾ 1) 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 2) 金沢医科大学病院 リハビリテーション医学科	P62
O-30	重度右片麻痺の外国人患者に対する帰国支援の経験 ～早期帰国・帰国後の生活に向けた多職種での介入～ 杉本 優輝 ¹⁾ 千田 茂 ¹⁾ 中村 孝佳 ¹⁾ 別所 恵美 ¹⁾ 鳥越 彩英子 ²⁾ 内山 尚之 ³⁾ 1) 石川県立中央病院 診療技術部 リハビリテーション室 2) 石川県立中央病院 患者総合支援センター 3) 石川県立中央病院 診療部 脳神経外科	P63

口述6

9月14日(土)/1日目 14:10~15:10 第4会場(商工会議所 大会議室)

呼吸器・心大血管・内科

座長：渡邊 豊明 (愛知医療学院短期大学)

O-31	COVID-19 罹患後 ARDS となり、人工呼吸管理となった事例に対するアプローチ 小幡 勇斗 玉木 聡 社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院	P63
O-32	長期の総合的リハビリテーションにより呼吸機能・摂食嚥下機能が改善し、人工呼吸器離脱と経口摂取の再獲得に至った上行大動脈人工血管置換術後2型呼吸不全の一例 水本 智也 松原 弘記 埜村 智之 上林 幸恵 三重北医療センターいなべ総合病院	P64
O-33	OPAT6 を活用した外来呼吸作業療法の実践 ～認識の変化により転倒回数の低下に繋がった症例～ 岡田 健佑 ¹⁾ 池田 隼也 ²⁾ 1) 小林記念病院 在宅医療部 訪問リハビリセンター 2) 医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院	P64
O-34	リツキシマブ治療下の全身性強皮症の手指ストレッチの効果について 麦井 直樹 ¹⁾ 濱口 儒人 ²⁾ 堀江 翔 ¹⁾ 松下 貴史 ²⁾ 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学 医薬保健研究域医学系 皮膚分子病態学	P65

O-35	ICUにおける作業療法介入 – 全身状態に応じた心身機能に対する介入経験 – 黒飛 陽平 J A 静岡厚生連遠州病院	P65
O-36	重症心不全患者に対する作業療法支援 – 管理栄養士と共同で行った調理支援, 栄養指導により食塩摂取量の減少が得られた 1 例 – 仁木 裕也 ¹⁾ 西 悦子 ¹⁾ 中岸 亜里奈 ²⁾ 堀江 翔 ¹⁾ 麦井 直樹 ¹⁾ 下島 正也 ³⁾ 武田 裕子 ³⁾ 薄井 莊一郎 ³⁾ 高村 雅之 ³⁾ 八幡 徹太郎 ⁴⁾ 1) 金沢大学附属病院リハビリテーション部 2) 金沢大学附属病院栄養管理部 3) 金沢大学附属病院循環器内科 4) 金沢大学附属病院リハビリテーション科	P66

口述7

9月14日(土)/1日目 15:20~16:10 第4会場(商工会議所 大会議室)

運動器 1

座長：藤田 桂 (福井総合病院)

O-37	大腿骨近位部骨折患者の虚弱と ADL・認知機能・栄養状態との関連 松本 翔太 ¹⁾ 今岡 泰憲 ¹⁾ 岡田 直隆 ¹⁾ 岩島 千幸 ¹⁾ 土屋 京香 ¹⁾ 山本 大貴 ¹⁾ 池村 重人 ²⁾ 1) 松阪市民病院 リハビリテーション室 2) 松阪市民病院 整形外科	P66
O-38	胸髄損傷患者が模擬的環境下での介入により自動車乗降の介助量軽減に至った一症例 小柴 皓嗣 ¹⁾ 秋山 恭延 ¹⁾ 山内 克哉 ²⁾ 1) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科	P67
O-39	球脊髄性筋萎縮症を有する右大腿骨骨幹部骨折術後患者の経験 – 病状の進行を見据えて在宅復帰支援を行った 1 例 – 中野 行賢 ¹⁾ 山田 ともみ ¹⁾ 返町 央 ¹⁾ 寺田 由吏 ²⁾ 西出 弥生 ³⁾ 河合 雅文 ⁴⁾ 山田 遥平 ⁵⁾ 1) 国民健康保険能美市立病院 リハビリテーション科 2) 国民健康保険能美市立病院 看護部 3) 国民健康保険能美市立病院 患者サポートセンター 4) 国民健康保険能美市立病院 整形外科 5) 石川県済生会金沢病院 整形外科	P67
O-40	急性期から COPM を用いて目標設定を行うことで意欲が向上し、ADL が拡大した症例 荒屋 果林 作田 夏希 吉田 翔 石川勤労者医療協会 城北病院	P68
O-41	下垂指を呈した症例に対する家事再開に向けたスプリントの検討 北村 俊行 黒飛 陽平 J A 静岡厚生連 遠州病院	P68

口述8

9月15日(日)/2日目 10:40~11:40 第4会場(商工会議所 大会議室)

運動器 2

座長：岡本 聡美 (金沢医科大学病院)

O-42	肘関節骨折術後に生じた関節可動域制限に対する拡散型圧力波の使用経験 – 洗顔・化粧動作に着目して – 朝日 大晴 ¹⁾ 藤井 裕康 ²⁾ 大草 直樹 ³⁾ 神田 太一 ¹⁾ 松山 太士 ¹⁾ 1) 社会医療法人財団新和会 八千代病院 総合リハビリセンター 2) 福山市民病院 リハビリテーション科 3) 公益財団法人健和会 健和会大手町病院 リハビリテーション科	P69
O-43	橈骨遠位端骨折術後に尺側部痛を呈した患者に軟性の Cuff 型装具を用いた介入について 熊沢 遥 ¹⁾ 石丸 真歩 ²⁾ 端谷 僚 ¹⁾ 1) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部リハビリテーション科 2) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション部	P69
O-44	キーンベック病・手根管症候群術後の外来作業療法の経験 堀川 修子 ¹⁾ 合歓垣 洸一 ¹⁾ 合歓垣 紗耶香 ¹⁾ 柴田 克之 ²⁾ 1) 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 2) 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系	P70
O-45	右環指・小指伸筋腱断裂 (Zone VI) 症例の外来作業療法 ～ 地域の中核病院におけるハンドセラピー開設 1 年間の取り組み～ 合歓垣 洸一 ¹⁾ 竹中 朋也 ¹⁾ 合歓垣 紗耶香 ¹⁾ 高川 真伍 ²⁾ 柴田 克之 ³⁾ 1) 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 リハビリテーション室 2) 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 整形外科 3) 金沢大学医薬保健研究域保健学系 リハビリテーション科学領域	P70

O-46	前腕複合組織損傷に対するハンドセラピー ～超音波エコー評価とゴールキーパー復帰に向けて～ 山田 ともみ ¹⁾ 中野 行賢 ¹⁾ 下崎 研吾 ²⁾ 萩原 教夫 ³⁾ 1) 国民健康保険 能美市立病院 リハビリテーション科 2) 石川県立中央病院 整形外科 3) 国民健康保険 能美市立病院 整形外科	P71
O-47	頸椎症性筋萎縮症に対する Wide awake surgery による腱移行術中に OT が超早期運動療法を行い機能転換を行った 1 例 堀 裕介 ¹⁾ 永原 詩乃 ¹⁾ 頭川 峰志 ³⁾ 廣川 達朗 ³⁾ 服部 憲明 ²⁾ 1) 富山大学附属病院 2) 富山大学附属病院リハビリテーション科 3) 富山大学医学部整形外科	P71

口述9

9月15日(日)/2日目 11:50～12:30 第4会場(商工会議所 大会議室)

がん

座長：泉 良太 (聖隷クリストファー大学)

O-48	脳腫瘍術後の頭痛により ADL が制限された事例に対する作業療法介入 磯谷 茜音 ¹⁾ 野口 佑太 ²⁾ 1) 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 2) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科	P72
O-49	SEIQoL-DW による目標共有が復学の一助となった脊髄髄内腫瘍の一例 ー応用的な更衣動作に着目してー 前田 李々香 ¹⁾ 秋山 恭延 ¹⁾ 下田 亜由美 ¹⁾ 泉 良太 ²⁾ 佐藤 知香 ³⁾ 佐々木 紅実 ¹⁾ 山内 克哉 ³⁾ 1) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 3) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科	P72
O-50	脳腫瘍の術後慢性期における社会生活障害に関連する因子の検討 中嶋 理帆 ¹⁾ 木下 雅史 ²⁾ 沖田 浩一 ³⁾ 中田 光俊 ²⁾ 1) 金沢大学 リハビリテーション科学領域 2) 金沢大学 脳神経外科 3) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部	P73
O-51	高齢膠芽腫患者の特徴とリハビリテーション実施状況の検討 ー若年者との比較を中心にー 西 悦子 ¹⁾ 堀江 翔 ¹⁾ 小林 亜里沙 ¹⁾ 麦井 直樹 ¹⁾ 橋本 直之 ¹⁾ 中嶋 理帆 ²⁾ 八幡 徹太郎 ³⁾ 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学 リハビリテーション科学領域 3) 金沢大学附属病院 リハビリテーション科	P73

口述10

9月15日(日)/2日目 11:50～12:40 第3会場(商工会議所 ホール)

神経難病・発達

座長：五十嵐 満哉 (恵寿総合病院)

O-52	「集団活動を通して子供たちの成長を追って」 ～ OT としての集団づくりの捉え方～ 長谷川 真登佳 ¹⁾ 蓑輪 千帆 ²⁾ 1) NPO 法人 くまっこクラブふくい 2) 福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	P74
O-53	パーキンソン病患者が症状日誌の導入を契機に行動変容や主観的満足感の向上がみられた事例 早川 琴巳 ¹⁾ 大西 斉 ¹⁾ 稲森 遥 ¹⁾ 大埜 誠也 ¹⁾ 戸田 芙美 ²⁾ 1) 藤田医科大学 岡崎医療センター リハビリテーション部 2) 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座	P74
O-54	長期経過を経て食事自力摂取が可能になった回復遅延型ギラン・バレー症候群の一例 高木 美穂 ¹⁾ 山田 克範 ¹⁾ 佐藤 万美子 ²⁾ 1) 福井総合病院 作業療法室 2) 福井総合病院 リハビリテーション科 医師	P75
O-55	球脊髄性筋萎縮症 1 例の上肢筋力の 5 年経過 小林 亜里沙 ¹⁾ 堀江 翔 ¹⁾ 麦井 直樹 ¹⁾ 八幡 徹太郎 ²⁾ 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学附属病院 リハビリテーション科	P75
O-56	視神経脊髄炎スペクトラム障害により下肢優位の四肢麻痺を呈した症例に対しての急性期作業療法経験 堀江 翔 ¹⁾ 水野 雄伸 ¹⁾ 西 悦子 ¹⁾ 麦井 直樹 ¹⁾ 八幡 徹太郎 ^{2), 3)} 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学医薬保健研究域 医学系 3) 金沢大学附属病院 リハビリテーション科	P76

高齢期・精神

座長：中森 清孝 (加賀のぞみ園)

O-57	右大腿骨頸部骨折による不安感・恐怖心がADL向上に影響した症例への介入報告 熊谷 有沙 根井 愛菜 川口 悠子 偕行会リハビリテーション病院	P76
O-58	麻痺側の大腿骨遠位端骨折をしても自宅で暮らし続けたい ～多職種で暮らしを支え、家族とのドライブができるまで改善した事例～ 今井 啓介 中森 清孝 介護老人保健施設 加賀のぞみ園	P77
O-59	軽度アルツハイマー型認知症者に対する訪問作業療法 荻野 大樹 ¹⁾ 村井 千賀 ²⁾ 澤井 和幸 ¹⁾ 1) 石川県立こころの病院 2) 石川県立こころの病院 認知症疾患医療センター	P77
O-60	若年性認知症患者に対する早期からの継続的な作業療法介入の必要性に関する考察 ～当院に入院した若年性認知症患者の生活状況に関する調査から～ 林 怜子 ¹⁾ 坂上 千里 ¹⁾ 澤井 和幸 ²⁾ 村井 千賀 ³⁾ 1) 石川県立こころの病院 作業療法科 2) 石川県立こころの病院診療部 3) 石川県認知症疾患医療センター	P78
O-61	精神科デイケアにおける定着支援プログラムとその取り組みについて 小村 悟 ¹⁾ 新川 麻貴 ¹⁾ 門脇 真司 ¹⁾ 美和 千尋 ²⁾ 1) 社会医療法人緑峰会養南病院 2) 鈴鹿医療科学大学	P78
O-62	生活背景を踏まえた介入が自発的な活動拡大につながった高齢うつ病患者の一例 下出 菜月 ¹⁾ 菊池 ゆひ ²⁾ 西 悦子 ¹⁾ 麦井 直樹 ¹⁾ 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系	P79

地域

座長：山本 泰雄 (鈴鹿医療科学大学)

O-63	地域住民に対するリモート併用型運動教室の実践報告 加藤 雅大 ¹⁾ 加藤 啓之 ¹⁾ 小原 陽子 ¹⁾ 渡邊 直樹 ²⁾ 平井 友也 ³⁾ 武藤 崇生 ⁴⁾ 岩田 陽平 ⁵⁾ 1) 南生協病院 リハビリテーション科 2) かなめ病院 リハビリテーション科 3) かなめ病院 デイケア 4) 老健あんき デイケア 5) 訪問看護ステーションよってって	P79
O-64	当院退院前・後訪問における役割について - 1事例を通して - 出口 美緒 杉野 達也 岩田 航弥 櫻井 翔 坂下 真千 保田 智子 田矢 理子 三重北医療センター 菰野厚生病院	P80
O-65	訪問型サービスCでOTが関わる有用性と今後の課題 - 生活に変化が現れた事例を通して - 間瀬 亜由美 富士リハビリテーション大学校	P80
O-66	「農家での施設外就労における障害者の作業効率の経時的変化」 笠間 令子 ¹⁾ 田邊 望 ²⁾ 1) 株式会社笠間農園 2) 金沢医科大学 リハビリテーション医学科	P81
O-67	入院時から在宅での生活を意識した作業療法の重要性 ～退院後も地域で暮らし続けている事例を通して～ 市川 翔悟 懸高 佑真 鈴 尚樹 小森 康子 公立河北中央病院	P81
O-68	令和6年能登半島地震直後に避難者として避難所のゾーニング支援を経験して 靄島 由希子 ¹⁾ 須磨 悠子(看護師) ²⁾ 1) 独立行政法人 国立病院機構 七尾病院 2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院	P82

【一般演題プログラム】ポスター

注： 前半 後半 発表・待機時間
 ポスター1 自由討論のみ セッション名を表します。

脳血管		ポスター会場(商工会議所 研修室1)
01 前半 ポスター1	脳卒中片麻痺患者の運動機能に対するボツリヌス療法と末梢磁気刺激の併用効果の検証 レイティトウ ミイ ¹⁾ 藤村 健太 ²⁾ 今村 彰吾 ¹⁾ 伊藤 僚嘉 ¹⁾ 前田 寛文 ³⁾ 加賀谷 齊 ^{3), 4)} 星野 美月 ¹⁾ 吉田 結賀 ¹⁾ 1) 藤田医科大学病院リハビリテーション部 2) 藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科 3) 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 4) 国立長寿医療研究センターリハビリテーション科	P84
02 後半 ポスター4	急性期から小脳出血患者に趣味活動を提供したことで意志に変化があった事例 山田 純奈 建石 光貴 坂田 崇好 朝日大学病院	P84
03 前半 ポスター1	頸髄損傷による左手の手指屈曲困難に対して MELTz を用いた一症例 鈴木 彬人 ¹⁾ 牛木 彩子 ^{1), 2)} 1) 国際医療福祉大学熱海病院リハビリテーション部 2) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科	P85
04 後半 ポスター4	ADLの成功体験により、身体機能向上の固執から脱却し、自宅でのADL自立と家事参加を目指せた事例 柴木 莉緒 坂井 由衣 川崎 愛 山本 信孝 金沢脳神経外科病院 リハビリテーションセンター	P85
05 前半 ポスター1	入院中に自宅で家事練習を実施したことで夫の理解のもと役割再開に至った被殻出血の事例 合歓垣 紗耶香 ¹⁾ 森村 真希 ²⁾ 田家澤 茉実 ¹⁾ 福永 明日美 ¹⁾ 合歓垣 洗一 ¹⁾ 1) 医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 2) ほうじゅ訪問看護・リハステーション緑が丘	P86
06 後半 ポスター4	脳梗塞発症後の病識低下に対するエラーベース学習が奏功した一症例 田中 優真 下野 真依 本川 剛志 加古 誠人 柴田 幸子 鈴木 篤明 トヨタ記念病院 リハビリテーション科	P86
07 前半 ポスター1	重度運動麻痺患者の麻痺手使用を促すために ADOC-H を活用した介入報告 上地 朱音 ¹⁾ 川口 悠子 ¹⁾ 大野 勘太 ²⁾ 1) 偕行会リハビリテーション病院 2) 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	P87
08	演題取り下げ	
12 後半 ポスター4	運動イメージの想起が難しい脳卒中上肢運動麻痺患者へのミラーセラピーの効果 ～2症例での検討～ 中森 崇 ¹⁾ 石倉 隆 ²⁾ 1) 社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 2) 大阪保健医療大学大学院	P87
13 前半 ポスター1	失語を呈した脳血管障害患者に対して、QOL 評価に焦点を当ててアプローチを検討し目標達成を目指した症例 鈴木 幹汰 すずかけヘルスケアホスピタル	P88
15 前半 ポスター1	ADOC による本人との定期的な目標共有と多職種連携により、健康関連 QOL の向上と在宅復帰に繋がった事例 佐竹 祐輝 ¹⁾ 泉 良太 ²⁾ 大庭 健嗣 ¹⁾ 1) 医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院 2) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	P88
16 後半 ポスター4	麻痺側上肢の使用頻度低下に対する外来 OT での復職支援 ～MAL のモニタリングにより行動変容に至った事例～ 大川 和希 五十嵐 満哉 川上 直子 川北 慎一郎 社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院	P89
17 前半 ポスター1	入院から運転外来へ移行した脳血管疾患患者の運転再開許可の時期と検査結果の経時的変化について 植田 寛 ¹⁾ 森田 康紀 ¹⁾ 松田 茉里耶 ¹⁾ 岡田 有由 ¹⁾ 吉村 裕子 ¹⁾ 藤井 啓介 ²⁾ 堀川 英世 ³⁾ 野上 予人 ⁴⁾ 1) 医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院 リハビリテーション科 2) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻 3) 富山大学附属病院 リハビリテーション科 4) 医療法人社団新和会 富山西リハビリテーション病院 脳神経外科	P89

18 後半 ポスター4	中途視覚障害者に対する退院支援 ～ロービジョンケアの経験を通して～ 亀井 絵理奈 ¹⁾ 渡邊 拓 ¹⁾ 杉原 友佳 ²⁾ 山内 貴寛 ³⁾ 1) 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 福井大学 医学系部門 医学領域 (附属病院部) 眼科 3) 福井大学 医学系部門 医学領域 (附属病院部) 脳神経外科	P90
19 前半 ポスター1	脳幹梗塞後, 早期からのMTDLP支援により自宅での生きがいの再獲得を目指した症例 狩野 英明 中森 崇 畿内会 岡波総合病院	P90
20 後半 ポスター5	高次脳機能障害の机上検査が困難な症例に対し、バーチャルリハビリテーションシステム Myro [®] を使用することで評価が可能であった一例 上田 篤史 ¹⁾ 棚橋 佑次郎 ¹⁾ 森 志保 ¹⁾ 松岡 伸幸 ¹⁾ 三輪 和弘 ²⁾ 1) 社会医療法人 厚生会 中部国際医療センター リハビリテーション技術部 2) 社会医療法人 厚生会 中部国際医療センター 脳神経外科	P91
21 前半 ポスター2	急性期における慢性硬膜下血腫術後患者の自動車運転再開と歩行の検討 石樽 礼乃 ¹⁾ 井上 信悟 ¹⁾ 増田 昌行 ¹⁾ 西郷 諒人 ¹⁾ 永田 将之 ¹⁾ 渡邊 浩司 ²⁾ 1) 掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター リハビリテーション室 2) 掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター リハビリテーション科	P91
22 後半 ポスター5	カードゲームが就労をめざす高次脳機能障害者に認知面に与える影響 藤田 さより ¹⁾ 建木 健 ²⁾ 中塚 智裕 ²⁾ 鈴木 達也 ¹⁾ 1) 聖隷クリストファー大学 2) NPO 法人えんしゅう生活支援 net ワークセンター大きな木	P92
23 前半 ポスター2	作図課題により視覚認知機能低下を主とする高次脳機能障害が改善しプラモデル屋に復職可能となった一症例 四條 敦史 島田市立総合医療センター リハビリテーション指導室	P92
24 後半 自由討論のみ	抑うつを呈した急性期高齢橋梗塞片麻痺患者への化粧療法を通じた関わり 本郷 志保 ¹⁾ 森本 かえで ²⁾ 米田 和喜 ³⁾ 辻中 椋 ⁴⁾ 1) 朝日大学病院 2) 京都光華女子大学 看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科 作業療法専攻 3) 千里中央病院 リハビリテーション科 4) 医療法人康生会 泉佐野優人会病院 リハビリテーション部	P93
25 前半 自由討論のみ	急性期作業療法に COPM を用いた一症例 ～入院生活の中で自分らしさを取り戻し作業の再獲得に向けて～ 後藤 梨沙 幅 拓矢 宮本 友美 森 志保 松岡 伸幸 舟橋 怜佑 中部国際医療センター リハビリテーション技術部	P93
26 後半 自由討論のみ	修正 CI 療法から上肢・ADL 向上を図り、訪問リハビリテーション継続にて機能向上・維持図れた症例 持田 優樹 医療法人桂名会 瀬尾記念慶友病院	P94
27 前半 自由討論のみ	生活期の脳卒中患者が生活に意識を向けたことで Useful hand につながった事例 松岡 志宝 ¹⁾ 永井 貴士 ²⁾ 酒向 圭介 ¹⁾ 高野 伶 ¹⁾ 高澤 真 ³⁾ 1) 有本整形外科 リハビリ・ケアセンター 2) 平成医療短期大学 3) 有本整形外科	P94
28 後半 自由討論のみ	情動のコントロールが向上し就労に至った高次脳機能障害の一例 林 もも子 ¹⁾ 太田 真理子 ²⁾ 寺田 佳世 ¹⁾ 1) 石川県リハビリテーションセンター 2) 石川県高次脳機能障害相談・支援センター	P95
29 前半 自由討論のみ	病気の回復状況に応じて、社会生活の評価を行い復学支援した高次脳機能障害の一例 林 もも子 ¹⁾ 太田 真理子 ²⁾ 寺田 佳世 ¹⁾ 1) 石川県リハビリテーションセンター 2) 石川県高次脳機能障害相談・支援センター	P95

運動器		ポスター会場(商工会議所 研修室1)	
02 後半 ポスター5	ADOC-H を用いた目標共有により患肢の使用頻度が増加した症例 ー術後前骨間神経麻痺を呈した患者への介入ー 森尾 千佳 須藤 梨佳 柴 貴志 地方独立行政法人 岐阜県立 多治見病院 リハビリテーション科		P96
03 前半 ポスター2	鏡視下肩腱板修復術後の装具固定状態での退院による影響とその特徴 宮本 春奈 ¹⁾ 糸川 秀人 ²⁾ 岡本 春平 ³⁾ 菱田 実 ¹⁾ 堀 友里 ¹⁾ 河井 恵介 ¹⁾ 金山 はるな ¹⁾ 1) 厚生連高岡病院 リハビリテーション部 2) 厚生連高岡病院 リハビリテーション科 3) 厚生連高岡病院 整形外科		P96
04 後半 ポスター5	頸椎椎弓形成術後患者の急性期病院退院時における頸肩部の痛みと心理状態との関連性 山岸 永典 ¹⁾ 松尾 英明 ¹⁾ 久保田 雅史 ²⁾ 中嶋 秀明 ³⁾ 1) 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系 3) 福井大学医学部器官制御医学講座整形外科学領域		P97
05 前半 自由討論のみ	橈骨遠位端骨折とその後の肩関節痛発生の関連性について 皆川 有菜 工藤 啓介 米山 智晃 村上 忠洋 社会医療法人宏潤会 大同病院 リハビリテーション科		P97
心大血管・呼吸器・内科		ポスター会場(商工会議所 研修室1)	
01 前半 ポスター2	長期入院患者に ADOC を使用し目標共有後に意欲や現状認識の向上がみられた一例 児玉 祐里 柴 貴志 須藤 梨佳 岐阜県立多治見病院		P98
02 後半 ポスター5	CABG 後不安を呈した症例に対する、MTDLP を用いた心臓リハビリテーション介入 杉平 唯 狩野 英明 社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 リハビリテーション科		P98
発達・神経難病		ポスター会場(商工会議所 研修室1)	
01 前半 ポスター2	身体障害領域における麻雀の活用 ～QOL, 高次脳機能の観点から～ 後藤 天馬 楠 侑也 吉田 純平 亀久保 江士 松下 太一 小出 弘寿 北斗わかば病院		P99
02 後半 ポスター5	超低出生体重児における3歳時の転帰と周産期要因との関連について 山田 博子 ¹⁾ 阿部 真季 ¹⁾ 千田 茂 ¹⁾ 杉本 優輝 ¹⁾ 北野 裕之 ²⁾ 1) 石川県立中央病院 医療技術部 リハビリテーション室 2) 石川県立中央病院 診療部 新生児科		P99
精神・高齢期		ポスター会場(商工会議所 研修室1)	
03 前半 ポスター2	医療観察法通院処遇対象者が一般就労に至った一例 杉山 冬樹 医療法人 義興会 可知記念病院		P100
04 後半 ポスター6	外傷性くも膜下出血を受傷後に誤嚥性肺炎による廃用と進行性核上性麻痺を呈した一症例 松田 壮広 医療法人社団睦会 愛生病院		P100
05 前半 ポスター2	段ボールクッションの作成 ～褥瘡のある事例の離床時間増加を目指して～ 生田 隆倫 東川 哲朗 米山 太朗 米山 千尋 社会医療法人財団 董仙会 恵寿金沢病院		P101
地域		ポスター会場(商工会議所 研修室1)	
01 前半 ポスター3	まだまだ働きたい！の思いに伴走した認知症の事例 上田 奈央 ^{1), 2)} 清水 基子 ^{1), 2)} 1) 四日市市介護予防等拠点施設 ステップ四日市 2) 医療法人社団主体会 主体会病院		P101
02 後半 ポスター6	家族介護者のレジリエンス力が回復期リハビリテーション病棟退院先に与える影響 ー傾向スコアマッチングを用いた pilot studyー 永井 貴士 ¹⁾ 松浦 有希 ²⁾ 杉山 菜々恵 ²⁾ 早矢仕 充寿 ²⁾ 澤村 彰吾 ¹⁾ 1) 平成医療短期大学 2) 各務原リハビリテーション病院		P102

03 前半 ポスター3	回復期リハビリテーション病棟から在宅復帰した者の作業機能障害と孤独の関連性 藤井 啓介 ¹⁾ 渡邊 英弘 ²⁾ 小栗 有加 ²⁾ 鈴木 洋平 ²⁾ 岡村 英俊 ²⁾ 多田 拓生 ²⁾ 福井 聖人 ²⁾ 日下部 雅征 ²⁾ 則竹 賢人 ^{2), 3)} 1) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 2) 東海記念病院 リハビリテーション部 3) 日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科	P102
04 後半 ポスター6	高齢者運転終活の実践報告 建木 健 NPO 法人えんしゅう生活支援 net	P103
05 前半 ポスター3	疼痛管理と活動表を用いた介入 一終末期がん患者に対する訪問リハビリテーションー 鈴木 志織 ¹⁾ 牛木 彩子 ^{1), 2)} 1) 国際医療福祉大学熱海病院リハビリテーション部 2) 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科	P103
援助機器 ポスター会場(商工会議所 研修室1)		
01 前半 ポスター3	目標設定の質と手順の評価 (Process and quality of goal-setting : PGS) の開発 ー内容妥当性の検証ー 川口 悠子 ¹⁾ 友利 幸之介 ²⁾ 1) 偕行会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 2) 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	P104
02 後半 ポスター6	ウレタンおよび繊維素材で作成された旅客鉄道用座席シートの性能比較 太田 哲生 柴田 克之 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 リハビリテーション科学領域	P104
03 前半 自由討論のみ	当事者とともに主体的な生活の実現を目指した筋萎縮性側索硬化症者の一例について 長原 美穂 ¹⁾ 北野 義明 ¹⁾ 寺田 佳世 ¹⁾ 古矢 泰子 ²⁾ 野田 祐輔 ²⁾ 1) 石川県リハビリテーションセンター 2) 石川県済生会金沢病院	P105
教育・研究 ポスター会場(商工会議所 研修室1)		
01 前半 ポスター3	回復期リハビリテーション病棟における疾患別のナッジ使用状況 泉 良太 ¹⁾ 佐野 哲也 ¹⁾ 能登 真一 ²⁾ 大庭 健嗣 ³⁾ 宮川 英乃 ⁴⁾ 1) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 2) 新潟医療福祉大学 3) すずかけセントラル病院 4) 新座病院	P105
02 後半 ポスター6	健康関連 QOL に基づく回復期リハビリテーション病棟退院後の外来リハビリテーションの効果 検証 ー予備的研究ー 佐野 哲也 泉 良太 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部	P106
03 前半 ポスター3	石川県作業療法士会キャリアラダーについてのアンケート調査結果報告 五十嵐 満哉 ^{1), 6)} 東川 哲朗 ^{2), 6)} 桂 靖典 ^{3), 6)} 合歓垣 洸一 ^{4), 6)} 山本 恭啓 ^{5), 6)} 1) 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 2) 恵寿金沢病院 3) 木島病院 4) 芳珠記念病院 5) 金沢脳神経外科病院 6) (公社) 石川県作業療法士会 管理運営教育部	P106
04 後半 ポスター6	石川県作業療法士会キャリアラダーの紹介 桂 靖典 ^{1), 6)} 東川 哲朗 ^{2), 6)} 五十嵐 満哉 ^{3), 6)} 合歓垣 洸一 ^{4), 6)} 山本 恭啓 ^{5), 6)} 1) 木島病院 2) 恵寿金沢病院 3) 恵寿総合病院 4) 芳珠記念病院 5) 金沢脳神経外科病院 6) (公社) 石川県作業療法士会 管理運営教育部	P107
05 前半 ポスター3	地域に密着したアクティブラーニングによる教育効果について ～産学連携プロジェクトを通じた教育機会の構築～ 飯田 妙子 ¹⁾ 泉 良太 ¹⁾ 栗田 洋平 ¹⁾ 藤田 さより ¹⁾ 酒井 英彰 ²⁾ 日高 彩夏 ²⁾ 大平 桃花 ²⁾ 新宮 尚人 ¹⁾ 1) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 2) 株式会社 杏林堂薬局	P107

ポスター 口頭発表セッション

前半 10:00 ~ 10:50

ポスター 1

脳血管 -01,03,05,07,13,15,17,19

座長：酒野 直樹 (金城大学)

ポスター 2

脳血管 -21,23 運動器 -03 心大血管・呼吸器 -01 発達・神経難病 -01 精神・高齢期 -03,05

座長：吉田 翔 (城北病院)

ポスター 3

地域 -01,03,05 援助機器 -01 教育・研究 -01,03,05

座長：川口 朋子 (金城大学)

後半 11:00 ~ 11:50

ポスター 4

脳血管 -02,04,06,12,16,18

座長：千田 茂 (石川県立中央病院)

ポスター 5

脳血管 -20,22 運動器 -02,04 心大血管・呼吸器 -02 発達・神経難病 -02

座長：仁木 裕也 (金沢大学附属病院)

ポスター 6

精神・高齢期 -04 地域 -02,04 援助機器 -02 教育・研究 -02,04

座長：種本 美雪 (専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)